京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十三年 紀元二千五百七十年
本紙定價 一枚金二錢▲一ヶ月前金拾五錢▲三ヶ月前金壹圓▲六ヶ月前金貳圓▲郵稅一ヶ月十三錢
月曜日及び大祭日の翌日は休刊(日刊)
廣告料金 五號活字十七字詰一行一回金五十錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢
發行兼編輯人 高木久馬太
印刷人 松久神一郎
京城西署西小門通(電話六八二)
發行所 京城新報社

寄書

韓國經營と人口問題(三)

於仁川 山下南海

眞正なる意義より論ずれば殖民は單に[illegible]民族の地理的異同のみを以て律すべきに非ず、奈何に同一民族が永住の意思を以て各般の產業に從事すればとて、其被移殖地が少なくとも本國主權の支配の下に立つの邦國換言すれば屬領地若くは保護附庸國たらざるに於ては所謂殖民に非ずして移住なり、則ち我帝國民の米國に於けるが如きは國旗に伴ふ移住に非ずして一の出稼たるに過ぎず、此見地より解して我國民の米國に移住せんとするは好ましき移動に非ざるなり、されど累年增加しつゝある人口を節制せんが爲に賃銀高き邦國則ち產業の振展著しき國土を選擇するは至極結構の事[illegible]政治上の故障其他に就[illegible]普通經濟上の原則[illegible]其なりと雖も、殖移き最も深甚の注意を拂はざるべからず殖地方に於ける政[illegible]勞働の移動を決する上に於て賃銀の高低てふ尺度たり標韓たりとなし得べきも、還は一國領土内たるか亦た波濤萬里の異域なるも敢治上社會上の狀態にして何等大なる故[illegible]に適用せらるゝもの[illegible]の如き故障多き邦土[illegible]する土地の所有權すら[illegible]於て、吾人同胞の多[illegible]く幸福ある生涯を送[illegible]數者の成功を見て多[illegible]るが如きは愚者の骨[illegible]故に米國移住は經[illegible]委附すべきなり、國[illegible]熱狂的奬勵を試むが[illegible]ものに非ず、よし之[illegible]段方法を講じたれば[illegible]的を達し得ざる事は[illegible]るべし、達し近世殖[illegible]なる經過を吾人にレポ[illegible]か、亦た近世國家の絕[illegible]る所のものは何ぞや[illegible]要關係を密接ならしめ[illegible]ずして、歐米列國が[illegible]要衝地點を把握し商[illegible]殖地となしつゝあるは[illegible]が天涯萬里なるが故に集中的殖民を完ふするに由なく、換言すれば列國が通商の要衝地點に於て殖民地を領有せるも此然るなり、之に反して韓國に對する我帝國の地理的關係は奈何歐米列國のそれに比較して其經營上彼此何れか難易なる盖し具眼者を俟て知るべきの問題に非ず、實に韓國は祖國人口增加の節制地として最適當の邦國なり、亦た韓國經營の目的を完ふせんが爲に適切なる移民政策を實行せん事は五千萬同胞の希望なり、滿韓移民集中問題を目して徹漫極まる机上論なりとなし亦た其餘りに軍備縮少主義に熱心し兎角の論評をなすが如きは識者の所說と謂ふ能はず國民の經濟力に伴はざる軍備の擴張則ち偏武政策の實行は最も避けざるべからずと雖も列強の現況に考ふる所あり亦た滿韓經營に前途の目的を遂せんが爲に要する軍備の擴張は寧ろ國民の甘受する所なるべし、世界の平和はアームド、ピースなり、軍備の不充實を以て一國の威信を保維せんとするが如きは天國を夢想する痴者の說なり、近時外交の歷史は奈何なる事實を吾人に語りつゝある乎、外交官の能不能預て力ありと雖も樽俎折衝が多き場合に於て强國獨り之を私しつゝありと云ふも穴勝失當の言に非ざるべし。

雜報

砂金增加傾向

從來韓國に於ては本邦輸出品として極めて些少の如き觀あるも其の賃金格に於ては然に年々五百萬以上を輸出しつゝある事實なり然るに兩三年前より急に產出高の減少し幾分市場に影響を與へたるを以て斯業家は愁眉の狀態にありし所以は年々北韓より輸出する地金中には全然北韓產出のものありしと雖も以前淸港に分析所未設當時に於ては北韓より西比利亞地に出稼たる韓人にして歸途には必ず地金を持ち歸りたるものが明治四十年に於て淸港に分析所の設置されたる以來は韓人は何れも該地金をルーブルと引き換へ歸土する姿に變じたるを以て北韓としては幾分減退を免れ能はざるなり然れども北韓はかくの如き狀態にあるも京城の如きはさしたる變化を與ふるは聊か不可思議の如くなるも事實は決して然らず四十年頃より全韓に亘りて暴徒の蜂起したるため作業開始したるものも採掘中止するに至りたれば勿論新鑛區の發見する理由なく從つてこれが減退の一大原因なりしなり然るに昨年頭より暴徒も略靜まりたると近々新鑛區の發見に伴ひ昨年度京城分析所にて取扱ひたるもののみにて二百五十貫即ち金格大約百二十五万圓なるも今年は優に三百貫以上を超過すべき見込なりと

純金の相場

韓半島に於て產出する砂金及金塊の相場は各地に於て一定し居らざるも韓國銀行にて買上ぐる格一定して約一匁四圓九十六錢位なり然るに韓全土にて最も良質なる咸鏡南道端川砂金最高位を占め約九十分を含有し居れり其の他は大同少異なるも概して京城に集委する地方即ち京城附近、慶尙兩道、黃海道等なるが之れ等は比較的優等なりと故に鑛地に於ける相場は非常なる差格を生じて京城附近は最も安價にて購求する事を得然れども北韓に於ても近來發見されたる新鑛區中には惡質なるも採出しつゝあるを以て以後は該地方の地金も近々下落するならんと

●未墾地の整理進捗

國有未墾地利用法發布以來該法に基き內外人の利用許可を出願せる者今日迄に千八百件此の面積十一萬八千七百五十二町步に達したり而して審査の結果許可されたるものは合計百五十五件此の面積八千二百六十二町步なり尙此外既得權の認證を受けたるもの四十四件面積四千八百十町步なれば認可の總件數は百九十九件總面積一萬三千七十二町に上れり

雜錄

須く其下駄を脫せよ

龍山 南洋生

一日東町を過ぐ泥濘脚を沒して步行困難を極む。道行く人を見るに男も女も步き易き方をと右に左に辿り進めり、吾も然かす。茲に於て想ふ人生行路難亦斯の道の如きか、而して今の論理宗敎を說くもの青年子弟を敎へて曰く、苦痛を避くる勿れ、恐れず進めと、恰も之れ、下駄や靴を履きながら泥濘の中も步けと奬むるにあらざるなきか、而も人は步み易き方へと進むなり、時に齡十二三歲許りなる少年の下駄を手にして跣足にて來るを見る泥濘中を行くごと左の困難を感ぜざるものゝ如く他の苦しみを應るに似たり、吾想へらく人生の眞意義茲にあり、唯、跣足あるのみ、赤裸々あるのみ、世の論理宗敎を說くもの下駄や靴を脫して步めと敎ゆるを知らざるなり、故に步み難きなり、僞善なり、見へ坊なり、故につまづくなり、蹉跌するなり、失敗するなり、人の世に處する須らく假面を脫し虛榮を去りて彼の跣足の少年の如くなるべし、茲に於てか始めて眞の自我を發展することを得んかと。

◎新刊紹介

▲實業之日本 ▲十五日發刊の本號は主として觀光團を主人公としあるも中に淸浦子の貧書生時代の困難自炊生活は最も青年の鑑たるべし(東京京橋區南紺屋町同社發行)

▲少女の友 家庭に於て少女の讀物としては最も良し之れに中々面白い尙家庭敎育のため寒中水垢離を取つて父の病氣平癒を祈るの記事は先づ一應讀ましむる必要がある(東京京橋區紺屋町實業の日本社發行)

▲黑髮 美男美女とならんとするものは宜しく本書を讀むに如かず(大阪市西區阿波座上通二丁目關西理髮會)

▲法學新報新年號 中央大學發刊の法學新報は法律雜誌中堅たりしものなるが殊に今年より新聞學研究を組織し續きに卒業したるもの及び新卒業者中より將來新聞記者たらんとするもののために新講座を設け既に第一回を了し三十名を撰拔したり尙該講義を每回の法學新報に記載する由なり

日本銘刀傳

第廿三席 邑井一 講演

女中の案內で八疊敷のちよつと小奇麗な座敷へ通しました 正「何か好い肴を二品許りに美い酒を少々燗けて呉れ」下女「へー畏りました、御逗留になりますか」正「事に依れば何うなるか知れないが、それもお前の方の手當次第で明日にも出立するかも知れぬ」下「へー／＼」其處へ亭主が宿帳を持つて來て 亭「今晚は難有うございます、精々氣を附けますから何卒長々と御逗留を願ひます」正「今も女中と話して居つた所だ、お前の方で手當さへ好くして呉れれば長く逗留して宜い」亭「精々氣を附けまするでございます、何うか御面倒樣ながら御宿帳へ……」正「ハイ／＼、承知しました」とイトも達筆に相模國鎌倉住人五郎入道正宗八十一歲と記したので亭主は吃驚して 亭「へー、貴方樣が名高い正宗さんでゐらはれましたか、天子樣の御番匠で正宗はんと云へは、誰知らぬ者なき高名な方、知らぬこととは言ひながら何うも失禮を仕りました」正「イヤ其樣なに詫びて呉れるに及ばん、何うだな、町外れの安宿へ往かうかな」亭「何う致しまして……」其內に獨に添り一杯飲んで居られる、さて一人と云ふものは誠に面白くないもので相手があれば宜いなと思つて居られる、スルと唐紙一重の隣座敷で話聲がする ○「では愈々此處へ泊りますか」△「何うも此家へ泊るより外仕方があるまい」正宗は之れを聽いて 正「ハテナ、何を話して居るんだらう」と小首を傾ける ○「何うだ、此の家へ泊つた所が宿泊料がないじやないか」○「だから安宿に御宿りなさいと云ふのに、お前さんが無理に此家へ這入つたのだから仕方がない、宿泊料位に持つて居なさることゝ思つて居た、全くないんですか」○「其の金がある位なら、斯うやつてお前に謝りはしない、知つての通り持つて居た三十兩の金は取られて仕舞ひ、女は伴れて居るし、何とも始末が付かない、併し京都へ歸りさへすれば、お返し申すから、迷惑でも京都までの費用を立替て貰ひたい」△「馬鹿な事を云つちや困るのぢやねわか、俺々僅かな勘定だが至つて懐けの薄いもの、損をする譯にや往かねえから、斯うして隨伴て來たのだ、其上宿泊料まで、立替へさせられて堪るものか」○「夫れはお前さん無理と言ふもの」△「何が無理だ、お前さんの方が無理だ、一人なら兎も角も、贅澤に婦人などを伴れて、歩行なさるから三十兩と云ふ大金を取られて仕舞つたのだ、夫れも實際お前さんが持つて居るのか居ないのか、早く言へば空なもので、夫れを宿泊料まで貸して呉れとは、無理で話じやあねえか、だから木賃宿へでも泊りなさいと出たので、其の位の錢はあるでせう」○「そんなことを言はずに何うかして下さいな、是れまで私は、安宿へ泊つたことはないが、ハテ困つたな」今度は婦人の聲として、何うか貴方京都へ歸れば、必ず御返濟するから、モウ是れから大阪迄の道と云つても、大抵知れたもの、一晩泊なら行けやうかと思ひますから、多分なことはございません、何うぞお願ひ申します」△「姐さん、お前さん、さう云ひなさるが、初めてお目に掛つたお前さん方に、料理代を引つかけられた上に、旅籠賃の立替まで出來るか出來ないか考へて下せね、其樣な事言はねえで、頼むことは言はねえ、今夜は安宿へでも行つて泊りなせね」○「併し一端這入つて泊つたものを、又出るのも体裁が惡いから、何うかさう言はねえで…………」と、頻りに困つて居る樣子、慈悲深き正宗は、聞くに聞兼ねて、間の唐紙を押開き 正「御免よ、イヤ大分話しが難いやうぢやアな」○「此れは誰方樣でございますか、お耳障りで相濟ません」正「イヤ何も耳障りのことはないが、今お前方の話を聞くともなしに聞いて居ると、安宿へ行けの、三十兩の金を取られたのだ、言つて居るやうぢやが、一体お前は何所の者か」○「私は京都の藤屋と申します家の手代でございます、此所に居ります此婦は姉子で自分と申しまして、ツイしたことから懇意になりまして、大和巡りがしたいと申しますから、伴れて參つて、大和を見物して居ります內に、今日三十兩程、這入つて居りました紙入れを取られました



京城電報

▲我政府態度決す　我政府は元老會議を經て米國の提案たる滿洲鐵道中立列國共營案に反對するに決し正式の回答を本日發送する筈（十八日夜）

▲統監政治の改善　桂首相と曾禰統監との間に統監政治改善に關する協議内決し近く地方行政刷新を圖り理事廳觀察使の履合統一、日韓人同一行政機關に據ることゝし中央行政は單に數名の罷免を爲すのみなりと（同上）

▲統監辭任と後任　曾禰統監の辭任は愈よ事實となるべく後任は長谷川大將に内定副統監は奥田義人たるべしと傳ふ（十九日）

▲統監府出張所燒失す　今曉四時統監府出張所より出火全燒せり原因は過失にて重要書類燒失せるもの多し（十九日）

▲内閣某大臣談　曾禰子と最も昵近にせる某大臣は語て曰く統監今次の上京は普通政務の打合にあらず或る重大なる案件を携へ居るは事實なり而して該案に就ては目下内閣に於て審議中にて確定までには尚多少の日子を要すべし偶々例の滿鐵中立問題起れる爲め寧ろ行惱の姿なり此際石塚長官以下諸大官更迭說の如きは單に世間の臆測にして未だ斯かる枝葉の人事問題に及び居らざるが如し（同上）

▲出張所の燒失詳報　麹町區内幸町の統監府出張所は今十九日午前四時半同建物内三階の萬原商會の暖爐烟突より失火し全家燒失せり而して昨夜は當直の小使一名ありしのみにて公文書類は搬出の暇なく全部燒失せり（同上）

▲假事務所の設置　統監府出張所燒失に就き取敢へず内幸町旭館を假事務所に當てたり（同上）

雜報

農工銀行の成績

光武十年開業　當行は光武十年開始せしが當座二三年間は一般韓人は銀行を以て尚ほ一個の官廳と誤解し同時官憲に對すると同樣の危惧を抱き預金に對して兎角澁り勝なりしが其後は漸く銀行の本體を了解し深甚なる信用を拂ふに至れるは別項記載の第一期預金約八萬三千圓より僅々三年間後に約七十三萬圓に飛躍せしに徵しても明かなり

▲信用の動機　上叙の動機よりして元金に對しては稍や安心を措くに至りしも之に對する相當利子の支拂は容易に信ぜざりしも銀行は其都度嚴正に支拂を了するより預金者の滿足は云ふ許りなく尚ほ以上のみならず銀行は出入共金錢に對して極て嚴重なるものなると周知するに至り甲唱乙傳益々銀行の信用を傳唱するに至れり茲に可笑しきは此程も某地方韓人より預托を受けし際何等かの違算よりして額面より百圓受領超過となり居りしを其後超過金を本人に拂渡し遣りしが本人の狂喜は殆ど其極に達せり事些細に似たれども幼稚なる韓人に對しては此許りの事も尚ほ信用上大なる効顯を有せり

▲貸出の苦心　貸出に於ても當初事情の明かならざりし爲め身元の確否の他果して生產的事業に投資するや否やを知るに苦みしが併しながら餘りに追及すれば遂に中途にして談合を中絶するに至り遺憾を感ずる事一方ならざりしが其後漸く相互の意思疎通するに至り今や本人自身銀行に就き趣を所辨する迄に運び來れり尚ほ貸出に就き借主の行使如何によりては銀行より既定利子より割引し遣る等の便宜をも計り居れり次に示すは開業當時より昨年末に至る三箇年間の預金及び貸出し表なり

貸出

第一期（光武十年上半期）	五十一萬三圓
第二期（同下半）	七十一萬七千五百廿五圓
第三期（隆熙二年上半期）	五十九万九千百二十八圓
第四期（同前下半期）	七十五萬三千〇九十圓
第五期（同三年上半期）	九十七万〇二百八十三圓
第六期（同上下半期）	百二十二万三千六百九十一圓

預金（韓人より）

第一期	八萬二千九百十二圓
第二期	十五万九千三百六十七圓
第三期	二十五万八千六百三十六圓
第四期	二十四万九千八百十四圓
第五期	四十九萬三千六百九十圓
第六期	七十六萬九千八百十一圓

以上表中預金は第一期八萬圓に對し三年後の末日に於て七十三萬圓に迄で增加せしは如何に韓人の同銀行に對する信用の程度を知るに難からず尚ほ同行の支店は水川、開城、忠州、淸州、太田、公州、江景の七箇所なり因に以上表中第三、四期の減退は暴徒の打擊を受けしによれり（支店長の談）

韓國鑛產の價格

隆熙三年度前半期に於ける韓國民有鑛產價格の鑛務局に屆出たる調査に依ば

金鑛	六〇、三八七、七八〇
金銀鑛	四一、一二三、七六〇
黑鉛鑛	六一、六一一、五〇〇
鐵鑛	四〇、〇〇〇、〇〇〇
銅鑛	一、五一二、一〇〇
石炭鑛	四、四六二、五〇〇
金銀銅鑛	六九八、八八〇
砂金鑛	四六六、九九九、四五〇
計	二五七、二〇三、八三〇

にして是を前年度同期に比すれば二二九、一九六圓四五〇の增加を示せり而して外に米國[illegible]鑛は韓國唯一の[illegible]〇〇〇〇圓[illegible]山產出額を加[illegible]九百五圓九十[illegible]

平壤鑛業所	一三五、七七〇、〇〇〇
載寧鐵山	八五、七九五、七九〇
殷栗鐵山	五二、二四〇、七三〇

●牛種の改良と豫算　農商工部にては本年度豫算產業獎勵費[illegible]購入し之を全道の畜牛に配尾せしむべき都合なりと云ふ

柞蠶會社の設立

李載克、日尾[illegible]李夏榮、李根湘、李重夏、李鳳來の諸氏は韓國柞蠶株式會社なるものを設立する事に決し過日農商工部に設立認可願中なりしが審理の結果愈々不日認可さるゝ事に決定したりと而して同社は資本金十萬圓二十圓株にて[illegible]として義州より開城に至る鐵道沿線に柞蠶林を設くる計なりと

●時局問題評議員會　時局問題研究會にては一昨十八日午後六時より議員に推薦して其承諾を得たる居留民有力者諸氏を京城ホテルに招待して戶叶[illegible]常議員を代表して同會設立の趣旨及其經過を委細說明し後右會議員大村[illegible]和田民長我山口[illegible]等數名の熱誠なる談話あり孰れも時局打破の急務なる所以を叫び快談[illegible]正さに民論の精粹を一室に聚めたるの觀あり午後十一時散會したる由[illegible]ものは古城菅[illegible]我勉、和田常[illegible]木爲次郞、辰[illegible]田虎助、清水東[illegible]曾川廣濟、石井新[illegible]叶、今井、山本[illegible]の各常議員等[illegible]

●日韓瓦斯會社改革　日韓瓦斯會社は元韓美電氣買收以來電氣電車の事業及其社員全部を繼承したるが給與及待遇の點に於て從來の比較的優遇されつゝあるに瓦斯部にあるものは之と相伴はざるもの多く是等兩者を混淆して永久に持續せしむるは社務遂行上頗る不利益なりとて客年十一月斷行して其統一を計り給與上に於ても彼是不權衡なき樣實行したるが右は同社改革の第一期にして更に近々第二期の改革を行ふべしと而して第二期の改革は淘汰を意味するものにて電氣瓦斯兩部を問はず苟くも無能又は不平分子を一掃して社員間の秩序を保ち執務の整一を期する爲めなりと云ふ

●韓國監獄の不設備　韓國の監獄は現在八個、分監九個にして其經費は僅かに五十餘万圓に過ぎざれば到底完全なる設備をなす能はず全羅南道光州の如き一時四人り多き時は一坪の建物に十二名を收容したることあり又夏期に於ては監獄係綱を張りて四人を鋼置したる例あり破獄逃走する者あるは即ち是れが爲めにして今若し全國の監獄を稍完備せんとするには約百萬圓を要すべきも日本の財政は到底之れを容れざるべきを以て統監府司法部四十三年度の豫算は從來の通りにして今期議會には特に增加要求をなさゞりしと云ふ尤も本年は京城平壤元山の監獄は在來の物を改築して新築の豫定

●普通學校設備要綱　[illegible]由なるが右は普通學校の教育方針等を詳述したる[illegible]

●海關監の沿岸巡航　[illegible]灣に航行する豫定又幾り一隻は仁川稅關所屬の[illegible]沿岸一帶を巡邏すべく今二十日仁川港[illegible]

●大極教の傳導失敗　在京儒生團体の一部にて大極教なるものを設立し孔子の道を轉ふるの主旨にて各郡鄉校に支教會を設置し以て韓國に於ける宗教的觀念の統一を圖らんと企て取敢へず同教會有司趙南軾なる者晉州に赴き同地の何某を介し民衆を集めて其の趣旨を演說せんとしたるも寄附金を强請せらるゝの噂を傳へて參會する者なく僅に五六名の儒生より集合せざりしを以て趙南軾は其翌日河東郡へ向け立去りたる由

●記者團と同志會員　朝鮮問題同志會より派遣されたる大谷五百木兩氏は一昨十八日午後四時より在京城日本人記者團諸氏を京城ホテルに招待し晚餐を供したるが兩氏は今二十日出發諸東に就き其會同は謂はば最後の會見にして兩氏渡韓の使命は此會見によりて決せらるゝものなり其結果絕對的の提携を爲すに到らざるも既に角時局の解決に就ては根本的現狀打破の必要を認むるに一致したれば今後は相互意志の交換を計り相應じて其步を進むるに努力すべく決したり

●理事廳經由の出品　福岡及名古屋の兩共進會に出品すべき物品整理は農商工部商工局係課にて着々進行中なるが其內日本人の出品にして理事廳を經由するもの木浦大邱釜山群山鎭南浦馬山京城に涉り孰れも本月二十日迄に送達すべき筈なるも今に一品も到着せず當局者は之が整理上頗る苦心し居れり就ては出品申込者は此際可成速かに整頓して該期日に遲れぬ樣注意せざれば折角の希望を空ふすべし

●調陽俱樂部の組織　元一進會評議員國民新聞社長たりし韓錫振外九名は今回調陽俱樂部なる名稱の下に一の社交團体を組織し韓錫振は總務となり趙南升、韓鎭九は幹事となり事務所を鍾路坊刀子洞に置きて目下會員の募集中なるが俱樂部の趣旨は音樂を以て國民の氣風を改良すると稱するも由來韓人の團体は政治運動に關係せざるもの稀れなるを以て其筋に於ては彼等の行動を注視し居れりと云ふ

●淸國へ輸出の檀木　ハクタラムと稱する檀木は韓國林業中の最好輸出品として從來淸國へ向け輸出せらるゝ額少からず而して該樹の生產地は殆んど全國に涉り居るも淸國と隣境の關係上多く鴨綠江沿岸地方なるが往時所任郡守等は入山稅を徵し更に港稅として一本十五錢宛を課し巨多の利益を計りつゝありたる程なれば該樹は韓國林業中忽視すべからざるもの也

●國民演說會幹事會　既報の如く昨十九日午後一時より鐘路商業會議所に於て國民大演說會の幹事會を開催したるが參會者約百名一進會が貴衆兩院議員に宛て國民總代の名義にて建白書を送附したるに對し右は國民全体の輿論に非るを以て更に意見書を作成し反對の意見を貴衆兩院議員に送附する事を議決したりと

●東拓社の水利計畫　東洋拓殖株式會社にては韓政府拂込の驛屯土及宮庄土以外に於て別に購入せる土地數多あるが該土地は多く陳土或は荒地等に屬し之を開拓する爲めには前途多大の計劃を必要すべく依て客年來屢々專門技師を派し例の調査に荏苒し居るが近く水利事業を施行すと云ふ

●武田少將以下來任　既報の如く平壤鑛業所長に內定したる德山煉炭所長武田海軍機關少將は十八日入京したるが十九日朝木內次官を官邸に訪ひ打合を爲す處ありたり而して同少將は現海軍煉炭所長の儘鑛業所長事務を囑托せられ次長には水谷千萬吉氏同上囑托を受け十九日辭令交付せらる

●民團憲報の不完備　公金費消事件の爲め民團役所に於ては目下諸帳簿の調査中なることは既報したるが調査の進行するに從ひて民團役所の憲報が不完備なること發見せられ其爲め調査の進行遲々たるのみならず殆んど支離滅裂の狀態なりと云ふ

●山根侍從武官巡視　韓國駐屯軍隊慰問の爲め十八日入京せられたる山根侍從武官は十九日は軍司令部師團司令部及び龍山に在る各軍隊を二十日は憲兵隊、衞戍病院、步兵第二十三聯隊を二十一日は午前統監府を巡視同二十二日午前平壤へ向け出發せらるべしと云ふ

●地方行政統一方法　地方行政の統一は近き未來に實施すべき筈なるが其の方法は長官に於て二樣の資格を有し一方理事官として日本人の行政を掌ると同時に他方に於ては觀察使として韓國民の行政を取扱ふ筈

●罹災救恤費の支出　本年度に於ける罹災救恤費總計一万一千圓にして內五千圓は國庫より負擔し災害の大なるものは之を以て支出し少なるものは地方費六千圓中より各々其災害の程度に應じ支出すべしと

●[illegible]及陸[illegible]　十九日の官報を左の[illegible]

●實業新聞發刊企畫　韓國解散兵を網羅して大韓興業會なるものを組織したる會長尹致晟氏は今回同會の機關として實業新聞を發刊せんとして目下其の計畫中なりと云ふ

●國有地調査完了期　昨年六月より各財務監督局に於て着手したる全國の國有地調査は其後着々進行し目下嚴寒の候なるも休業せずして進行しつゝあるが本年六月頃を以て全部調査完了する豫定なりと云ふ

●警視廳の官制改正　警視廳に於ては從來主理に內部警記官を兼ねしめ青木戒三氏之れが任に充り居りしが近々專任警視を置くことに改正さるゝ由にて青木氏任命せらるゝ筈

●憲兵派遣所新設　京畿道抱川郡は賊魁姜基東延基羽の率ひる六十餘名の賊團が昨今出沒して甚だ危險なるを以て今回抱川郡外所面上松隅に新設せり

●木曜會の新年會　在京高等官十餘名にて木曜會なるものを設立し去秋以來每月二回京城ホテルに於て例會を開催し來れるが今二十日新年第一回の集合を京城ホテルに開き晚餐を共にしつゝ時局に關する研究討議をなす由なり

●山林技師の更迭　農商工部山林局技師道家充之及京城林業事務所技師なる中牟田五郞の兩氏は今般辭職の上道家氏は拓殖會社に轉じ其の後任は北海道廳技師齋藤晉作氏任命せられたり

●國字新聞の押收　新韓民報第百六十四號は治安に妨害あるものと認められ一昨十八日之れを押收せられたり

韓銀瞥見錄（一）

スイロオ生

▲大韓國政府保護の下に創立せられたる株式會社韓國銀行は第一期の營業を了り其第一回定時株主總會を來る二月十七日東京に於て開かんとす、此時に於て記者が瞥見したる同行の概況を世上に公にするは總會前に於て同行株主及び關係者に向つて聊か同銀行の現況を知らしめんが爲なり

▲筆を起すに當り先づ第一に記者は去る十六日本紙揭載記事「韓銀當期の欠損中」同行は追て他より低利の借入金を爲す迄は資金の都合上公衆に向つて一切貸出者しくは手形の割引等を爲さゞる方針なりと云ふ」に對する木村營業局長（十八日發行京城日報所載）の辨明を辨駁せんとす、何となれば木村局長の辨明は如何に銀行に忠實なる同氏の言なりとは云へ餘りに異相を距りたるものにして若しも今にして之を明にし置かざらんには重役の言とし云へば何事をも盲信して樂天的に觀するの癖ある一般株主及び公衆をして他日出拔けに失望の深淵に陷らしむるの恐あればなり、いでや是より木村局長の辨明に就て解剖を試みんか。

▲木村局長曰く韓銀の現況は拂込資本金二百五十萬圓、條令に因る政府貸下金百二十萬圓銀行券發行千三百萬圓合計政府並に普通預金約千二百萬圓合計二千七八百萬圓の運轉資金を有し之に對して韓銀は現在政府貸上金七百八十萬圓保證準備として第一銀行に貸附金七百八十萬圓不動產百五十萬圓一般貸出金四百萬圓正貨準備として銀行券發行高の三分の一即ち四百三十萬圓合計二千五百萬圓を運轉し居れば差引現在二三百萬圓の遊金を有すと、斯る前後撞着せる數字を臆面もなく列べて京城日報記者を納得せしめたる木村氏は他を納得せしむると同時に自身も納得し居らるゝならんと雖も之は又トンデモなき間違ひにて該二三百萬圓の遊金なるものは現在遊金として手許にあるにあらずして實は遠く東京第一銀行に預入しあるものにて爲替の決濟其他非常準備に充てられたる者なり、第一銀行時代に在りては爲替の決濟は東京の本店自ら之に當りたるを以て特に內地に於ける關係銀行に準備金を置くの要なかりしと雖も韓銀に至りては一銀と事情を異にするを以て爲替決濟資金及非常準備金を置くの必要あり、事情如斯なるを以て木村氏の遊金なりと稱する三百萬圓は實の遊金にはあらずして如何に銀行が貸出及手形割引等に資金を要する場合と雖も之に手を附け得るものに非ざるなり。

●櫻井書記官別宴　櫻井度支部書記官は元山財務監督局長に榮轉せしに付同部高等官は二十一日華月樓に於て送別會を兼ね新年宴會を催す筈なりと

●庵原課長の出張　豫定の通り釜山に於る朝鮮海水產組合總會に出席の爲め庵原漁政課長は田邊統監府屬高橋水產局主事を隨へ本日出發したり

●赤倉書記官歸任　露多來郞朝中の赤倉度支部書記官は明廿一日歸任の筈

龍山通信（十九日支局發）

●民會の開會　龍山民會は前日に引續き開會し議案第一號より六號迄を附議したり一號は民團財產及營造物管理規則二號は民團會計規則三號は民團稅賦課規則四號は民團納稅者取締規則五號は民團手數料改正の件六號は借入金額收規則にして何れも難問題たるを以て之を三分して三人宛の委員に附托し委員は直ちに[illegible]

▲學生と電車　龍山から京城中學校及び高等女學校へ通學する生徒の爲め電車の割引を同民長より藝に日韓瓦斯會社へ交涉せしに一昨十八日に至り四割宛を減額する旨の回答ありたり

▲龍山新驛　鐵道管理局にては龍山に停車場を新設することに決定し[illegible]

特敍勳三等賜太極章　光濟號機關長海軍大尉　德永　鉞
[illegible]宮內府奏任[illegible]　小宮三保松
[illegible]

公人私人

△八木條次郞（鴨綠江[illegible]）尾旅館に投宿中十八日[illegible]
△迎山定雄（天安憲兵[illegible]）
△木村鐵平（大邱憲兵[illegible]）
△矢野助藏（平壤憲兵[illegible]）
△山本吉丙（侍從武官[illegible]）
△齋藤勇三（主計大尉[illegible]）
△永田純孝（湖川警察[illegible]）
△庵原文一（漁政課長[illegible]）

▲治外法權▼

窗を湊らし長谷川騎將[illegible]との電報が來た、夫が[illegible]現東拓副總裁吉原三郞[illegible]やが擬せられて居ると[illegible]而し何れも出所不明の[illegible]て信を措くに足るものは[illegible]い▲曾禰統監が辭す[illegible]して今頃は其病氣[illegible]正案の議會通過に[illegible]とだらうと思ふ、但し[illegible]云ふ大きな問題が持ち[illegible]首相を始め何人も曾[illegible]り聞いて呉れるものは[illegible]運の惡い人はドツチ[illegible]を引く役に當る▲東拓[illegible]て鑛業事業を起すの[illegible]只此事業にポスエニヤ[illegible]なる殺入君を關係せる[illegible]來だ、何となれば殺[illegible]ン小栗組合の手先と[illegible]に空權壓をやつた[illegible]記者は半島の或部分[illegible]適して居ることを信[illegible]長本田博士の如きは[illegible]甜菜有望說をトーか[illegible]る、只並に待ふべき[illegible]になるかならぬかな[illegible]栗業が科學的に出來[illegible]人も異存なしだ、只[illegible]に於て實物となるか[illegible]拓會社が已に案を立[illegible]ると云ふからには此[illegible]げたるならん▲由來[illegible]者に非す、現下の半[illegible]では東拓の商買には[illegible]本內地其他へ輸出す[illegible]んねばならぬ、東拓[illegible]すかね。

滿洲劇の開幕

右は筆者病氣の爲本日休載

●牛種の改良と豫算 農商工部にては本年度豫算産業奬勵費中に畜産補助費として六千二百圓を計上したるが右計畫は韓國産牛種改良の爲め…牡牛七頭牝牛二頭…購入し之を全[illegible]に飼尾せしむべき都合なりと云ふ

●普通學校施設要綱 學部にては普通學校施設要綱なる小冊子を印刷し各學校職員に頒布する由なるが右は普通學校の教育方針等を詳述したるものなりと

●巡邏艇の沿岸巡航 仁川港に碇泊中の内部所管巡邏艇六隻の内五隻は大同江の解氷を待ちて鎭南浦に航行する豫定又殘り一隻は仁川税關所屬となる筈なるが第一號艇は[illegible]に係留する筈なりと

一內部次官入豐廐の爲め柴田監視官補第一號艇に乘込み二週間の豫定にて江華島より黄海道沿岸を經て龍湖島に至る

●叙勳及陞叙 十九日の官報を左の通叙勳及陞叙ありたり
光濟艦長海軍少佐 藤木源次郎

勇敢なる韓人巡査

▲父子三名の凶賊を捕ふ ▲十數ケ所の重傷を負ふ

韓人巡査として云へば大概怯懦にして勇氣足らず一般役人より甚だ輕視せられ居る事實なるが茲に慶尚北道漆谷郡漆谷駐在所詰韓人巡査金汀根が去る十四日同郡三山洞に於て強賊三名と格鬪し頭部等に十數箇所の重傷を負ひたるも屈せず遂に村民の援助を得て之れを捕縛し得たる勇敢なる行動を聞き得たる所に從ひて詳記せん 同日同巡査は毆打創傷犯人搜索の爲め漆谷郡西北面三山洞に出張したるに洞民の[illegible]が密告するやう三山洞居住の朴致寛（六〇）は四年前同所に移住し來りたる者なるが二男朴立祚、三男朴再湘の三人暮しなるが妻女とてはなく男斗りの世帶を營みつゝあるが別に職業を營む風も見へざるに家には多數の米穀を貯へ居り世間の風評に依れば彼等は他所に於て強盜を働くと眞僞未定なるも何しろ怪しむべき一家なりと金巡査は此を聞くや开は捨置くべきにあらずとて早速嫌疑者朴致寛方に至り見れば朴は不在なりしにぞ同巡査は附近を搜索しつゝありたる際暴動怪しき一人の男に出會したるを以つて誰何せしに彼れは忽ち物をも云はず逃亡せんとせり之れ實に朴致寛なりしより極力追跡して同洞東方山中にて追及し格鬪の末難なく之れを組伏せ繩を掛けんとしたる際朴の二男立祚、三男再湘の兩名は父を助けんとて同巡査に向つて抵抗したりしも強勇なる金は物ともせず遂に致寛に繩を掛けたる上殘る二人をも逮捕せんとしたるに兩人は死物狂ひとなり石を持つて打つて掛りたるより茲に四人入り亂れての大格鬪となりしが多勢に無勢兩人の爲めに石塊にて亂打せられ頭部面部背部等に十數個所の重傷を負ひ氣勢怯みし隙を伺ひ兩名は父を助けて逃亡を企てたるが之れより先き同洞民は之れを聞き知り一面手に手に獲物を提さげて賊を東北面架山の山林中に追込み四方より包圍して逮捕すると同時に一面漆谷派出所に急を訴へたるより同所詰森巡査は現場に急行して強賊三名の所置をなしたるが朴致寛は派出所に連行の途中心臟痲痺の爲めに斃死したり此の報大邱署に達するや是澤署長は早速荻原巡査部長及び巡査並に醫師を漆谷に急派せしめたるが醫師の診斷に依れば金巡査は重傷なるも餘病を併發せざれば生命には別條なかるべしと因みに金巡査の負傷は職務の爲なるを以て警察內警察官一同より醵金して慰藉金を贈る事に十七日大邱署長に於て取計はれたり尚此勇敢なる巡査に對しては其筋よりも賞與あるべき筈なりと云ふ

惠泉館の活劇

▲劍舞と喧嘩の間違ひ

十六日夜漢城府尹張憲植と高義駿の兩人惠泉館に赴き晩餐を倶にし政合邦贊成の意見を交へつゝありしが折柄隣室にありし國是遊說團員、國民大演說會員、鄭應[illegible]、內宗鎬、文錫、姜鎬外三人會合して酒汲み交し居たれば張憲植は之等の人々を招き酒肴を新たにして宴を張り忽ちに麥酒數打を盡し各々政論を闘はし政合邦贊成說多數なりしが席上文錫は醉にまかせて其場にありし洋杖を振り回し自ら吟じつゝ自ら舞ひ居たるを同館の總角が喧嘩と思違へ斯くと主人に通じたるが文錫は劍舞に日本通を見せたばかりでは氣が濟まず更に留學中に習ひ覺えたる柔術の奧の手を見せるとて高義駿の胸倉を執りたる由なるも素より酒の上の醉興にて世間に傳ふる如く喧嘩したるにはあらず

大坂協會の回答

▲東西兩協會益々絕緣

過日東京大相撲協會より大坂協會に對し絕交狀を送附したることは昨紙所載の如くなるが右に對し去る十六日左の如く大坂協會より回答書を送りたる由

拜啓益々御清榮之段大賀此事に御座候陳れば貴協會より當協會に對し自今交際を絕ちたる由御申越相成候へ共當協會は未だ曾つて貴協會に對し交際を申込たること無之候間交際を絕と絕ざるは隨意の事に候右貴答迄

一月十五日 大阪相撲協會 取締朝日山四郎右衛門

東京相撲協會取締 雷權太夫殿 友綱貞太郎殿

之れに對し東京大相撲版元根岸治右衛門は苦笑して曰く「大阪協會は從來東京協會に交際之れ無しと云ふも既に合併興行をなしたる例もあり又た若島の横綱問題の際なども確かに往復交際したる實例もあり而かも大阪方にて交際なしと云はるれば當方にて強ひて交際ありと主張するにも及ばず自然の成行に任さんのみ云々

●貧からの盜み 北海道石狩區白石村鎌田昇吉（二九）は三十九年中渡鮮し四十年迄京城民團書記たりしも其の後解雇されたるより測量の手傳ひ等を爲し漸く其の日を過し居たりしが昨冬十二月十八日南部奬忠壇なる自分住居の隣家豐田重雄なる人の夫婦共不在なるを見濟まし同日正午頃同家に忍び入り重ねある衣類の中より兩人の米澤の羽織外六點代價六十餘圓の物を竊取し何喰はぬ顏して自分方にも竊盜忍び入り懷中時計一個を竊取せられたりと銅峴分署に屆け出でたるも昇吉の今の有樣にて時計等所持し居るべき筈なく且つ昇吉の擧動に怪しき點ありと見て取りし同署の辻本刑事は樂洞分遣隊の高橋特務憲兵と協力し搜索の步を進めつゝありしが前記昇吉が去る十九日龍山に行きし形跡あるを確め同方面探索の結果同地の質店某々二箇所に贓品悉皆を十八圓に入質せし事實あるより取り調べに着手し有無を云はせず去る十一日銅峴署に引致し一應取り調べの上十八日京城區裁判所檢事局に押送したりと云ふ貧して鈍したるものと云ふべく笑止千万の事どもなり

●身受料廿六圓 仁川府內朱安面樂貸商吉川與一（五三）方雇人安召史（一三）と云ふは昨年十月頃何者かに誘拐せられ其後捜索し居たる處花開洞筋朝鮮數島に居る事判明したれば引取の爲め行きたる處右安召史は數日前花林洞の安樂鎭と云へる男に大枚二十六圓にて身受せられし後なりしかば其旨仁川署に訴出でしが元々普通の雇人に外ならざれば安の好む處に行きて可なりと說諭したりと

●野犬撲殺の勵行 北部順化坊李漢周方の飼犬は疑似狂犬病に罹り韓人八名及韓巡査一名に咬傷を負はせたるより北部警察署にては直ちに之れを撲殺したるも尙他に同病に罹れる犬ありて萬一他人に危害を加ふることありては一大事なりとし南部警察署にては野犬撲殺を勵行しつゝあり現に本日撲殺したる數は十七頭なりと云ふ此の際飼主に於て理事廳令に基き畜犬に札を付せざるに於ては野犬と認め撲殺せらるべしと

●五雲會の初例會 本年の初會（第三十七回）例會は廿三日（第四日曜日）午後正一時より大和町三丁目梅の屋に於て開會せらる番組左の如し

高砂（小早川氏、ツ小杉氏、兒嶋氏）羅渡（小早川氏、楢木氏）大原御幸（橋寺氏、法十村氏、太三浦氏、局河合氏、內島氏、本田氏）昆布賣（小早川氏、楢木氏）求女塚（有賀氏、ツ澁谷氏、ツ波多江氏、狂氏）

▲能 田村（橋田氏、島田氏）璉（小早川氏、楢木氏）仕舞獨吟

●春畵の店晒し 仁川寺町二丁目古道具屋山下仙七と云ふは一昨日午後店頭に古春畵數枚を陳列し置きたるを警官に見咎められ沒收せられたる上本署に引致取調中なり

●不正質屋の說諭 仁川龍岡町二丁目質屋業谷岡次郎吉（四三）と云ふは韓人池龍模なるものが客臘廿六日網皮帽子を四十錢にて入質したるを十二月末日にて流れたりとて品物を渡さざりしより一昨日警官に訴出で說諭を受く

●自轉車で負傷 南署細井洞住裵奎錫の仲僕雁男（九）と云ふが一昨十八日午後五時頃黃金町にて遊戲中の處折柄自轉車にて通り懸りし本町一丁目本田洋服店々員石丸定一（二二）の爲めに負傷せしめられ雁男の親父と共に南署へ連行治療料として三十錢を支出して事濟たりさ

●船主の說諭願ひ 仁川田中又太郎所有の團平船乘組員李書房と云ふが一昨日午後七時頃仁川署に訴出づる樣雇主の田中は月給の殘額三圓二十錢を今に支拂し呉れざれば說諭ありたしとの事に警官は田中を召喚して嚴しく諭し

●新町の健康診斷 新町遊廓一昨十八日の健康診斷は入院患者七名自宅診斷二名休業通院八名就業通院者八名

▲歌舞伎座 壽劇中[illegible]村福圓の大一座にて連夜大入を占め不景氣知らずの同座今四日目の演物は前狂言『鐘諸共恨の鮫鞘』切は『一條大藏卿物語』上中下と据りたるが切狂言の福圓の大藏卿は近來の觀ものなるべし其の重なる役割は左の如し

古手屋八郎兵衛、一條大藏卿（福圓）丹波屋れつま、常盤御前（梅女）幽入屋與平次、大江廣盛（雛君）矢島才兵衛（福三郎）香具師彌兵衛妻れ糸（菊三郎）鐵醍丑松、吉岡鬼二郎 吉藏）島女れ才後に女郞若野妻鳴瀨・菊太郎）井筒屋多吉、檜垣菊屋與市 小文治）梶岡文厩、入郞勸解由（雷久次）古手屋清八（雷三郎）若徒會平、松の尾佐吉（昇若）

▲壽座 歌舞伎座の向ふを張つたと云ふ譯けにてもあるまじけれどこれも又嵐鱗十郎一座にて盛んに景氣を呼びつゝある同座本夜（四日目）の一番目は『建前 祝 春魁れ國六三』上中下、中幕『御所櫻堀川夜討辨慶上使』切狂言『奧州白石噺吉原二階の場』にして重なる役割左の如し

大工六三、傾城宮城野（大之助）藝者れ園、縫物師れわさ、妹れのぶ（猿志）大工興吉（芳之助）平野屋幸次郎、貸本屋（松孝）·箱廻し三次 鯉昇）藝者若助、女中れちよ（小蝶）下女れ玉（小てう）藝者小糸、卿の君、宮紫（梅枝）稲牛の女將れてい、妻花の井、宮里（金之助）三河屋宴兵衛、侍從太郞（蝶昇）番生川崎蓮道（好猿）村上俊夫、武藏坊辨慶、大黑屋惣六（鱗十郎）

▲仁川歌舞伎座 仁川歌舞伎座にては一昨日より演劇活動寫眞を開演せしが例の秋月歌子が呼物となりて好人氣を博し居れりとは結構な事なり

▲平民文庫▼

▲京城賞勲會の一等當籤者は未だ出ません私も辻屋で三枚買つたのだが朋友が何に當らるもんか續いて丁へ續いて丁へと云ふので當る積りで買つたのではない呉れたから買つたまでだ嬉くとも換我慢で起して續いて丁つ爐くとも換我慢で起して續いて丁つたが今考へると夫れが一等であつたらしくも思はれる（一靑年）▲意志が弱いと云ふ譏りは免かれぬ（小僧）▲昨日の當欄に小僧君が生意氣で困るとの係先生のた話しであつたが決して私共は聞君を生意氣ではないと思ふのみか却つて當欄の花形役者だと思ひます（一讀者）▲然うですとも全くです至く花形役者です記者よりは讀者さんの方に眼があるエツへ、ハツハン（小僧）▲明治町の日韓印刷會社の前の床屋の主人公は仲々藝人だ隅には置けない軍人出とは思へません（髭剃男）▲以前翠の板場として江戸前の鹽梅に食通を嬉しがらせて居た相原七三郎と云ふよりは芳村榮十郎の方が通りの宜い男は同樓を出た後一時壽町食道樂の與隆に蜚痒して居たが都合があつて分離することになり南山町樂亭の前元にしきの跡へ色氣拔きの料理店を開業する相だ安値で食物の美味いを自慢に（飢負男）▲東京相撲の新聞脇萬見山も風も何うも出來が善くない何うも彼の位地は難かしい見へる（角力狂）▲歌舞伎座で藝劇を入れたら壽座も失れにした何方が勝つか僕は歌舞伎の坂本に同情して同座を勝たして行りたいイヤ當然勝つよ俳優の段が違ふ樣だもの（關東男）▲日々新聞は何んで二度目の停止を食つたのですか私共には理由が知れない（愛讀者）▲御尤もです理由を明示せられないから恐くは日々記者にも判るまいマア發行停止處分を習く行らなかつたから一つ行つて見ようてな所位ひに思つて居るより外に致方がない現に角夫れは串戲として殘念ながら明確に貴問に答へすることは博識多才なる小僧にしても不可能と思ひます（保）▲博識多才とれ來でなすつたナ保さん愈々閉口か諸君諸君の萬歲を唱ゑて下さい（小僧）▲小僧君萬歲、讀者諸君）

吉凶鏡 本町五丁目 三一館判

一月廿日月齡十二國の九乙酉 一白友引成△一白 厄運の日なり創始改變に類すること凶旅行忌むべし△二黑 不振の日とす新事見合すべし街旅行談判相談婚姻の事談凶△三碧 紛糾事は解決及遠方に對してなす取組事善果あり散財破財愼しむべし△四綠 中絕離間を愼しむべし音信快事を報ずるあり△五黃 不利の日新事見合すべし紛爭[illegible]皆畏るべし△六白 牧利の日なり訴訟事に[illegible]總じて快事の日なり從業[illegible]すべし△八白 [illegible]の參あり△九紫 新事見[illegible]失慣しむべし農林業には[illegible]

特旨陞叙 光濟艦長海軍大尉 … 宮內府次官勳一等 … 內部次官勳一等 … 農商工部次官勳一等 … 特陞陽太極章

●天氣豫報（自十九日午後六時至二十日午後六時）
北西の風晴
十八日（審氏） 最高溫度 二六・六 最低溫度 一二・五

雜貨 寄席 帶締 其他紐類各種 京城明治町一丁目 電話一千四百〇九 みどり徳商店

▲紙料紹介欄▼

人事部

●年齢十五歳位の小供入用 希望者は來談ありたし 三井物産京城支店

●小僕入用 十五歳より廿歳迄の男子三四人入用但し市内に確實なる身元引受人あるもの 辻屋本店

●寫字並室内製圖熟練の者至急御依頼に應じ度し望の方は下名へ 太平町二丁目廿三番戸 一四

多少法律事務並に韓語の心得ある二十歳前後の青年一人雇入たし 姓名在社

物件部

●貸家 西大門內佛國領事館隣六疊三疊四疊半並に炊事場付格安に貸したし 御所望水方へ

●電話讓渡又は貸付 九何〇番直接面談に限る 本町四 資化堂藥店

●老舗讓渡 本町一丁目目拔の場所多年賣込し雜貨店主人實家相續の爲め歸國に就き居拔の儘至急讓渡したし 旭町一の六〇 山村

廣告

三三一館 京城本町五丁目 易斷觀相鈦授 館主 土御門派大陰陽師

滋養と牛乳 純良牛乳 京城東四軒町 岡野牧場 電話壹〇六九番 馬車配達 衛生と消毒

御待合 新築開業 京城永樂町三丁目永樂湯前 松月 電話一三四五番

中島醫院 入院隨意 京城壽町三丁目(電話三七八番) 院主醫學得業士 中島貞信

待合 日 [illegible]

營業擴張廣告

質 全業

土地家屋並に商品擔保

右は秘密確實最低利に取扱可申候間御申越被下度候短期は日歩にて相談に可應候下記御便利の箇所へ電話又は端書にて御申越被下候へば早速罷出可申候

京城竹園町二丁目 樋下田本店(電話九三二番)
京城和生町(南大門魚市場裏) 樋下田支店(電話一四三九番)
龍山漢江通六十三番戸 樋下田支店(電話四〇四番)

きゝめのある温泉湯

此の温泉は左の如き病に最も妙なり 一かつけ、痔疾、リウマチス、腰痛、中風、ひぜん、梅毒、りんよこぬ、子宮病、血の道、神經痛、やけど、マラリヤ、せん腸胃加答兒、凍傷、がんがさ、其他内用には鐵冷温泉を用すれば尤も効能あり

京城本町一丁目郵便局前 貸席 鐵冷温泉 電話千四百十一番

統監府 裁判所 監獄署 警察署 法規提要

石川高等法院判事閣下校閲 今村内部警務局警視閣下校閲 日韓印刷株式會社編輯部編纂

◎印刷鮮明 ◎類集整然 ◎校正嚴密 ◎攜帶便利

●全一冊●紙數凡六百頁◎紙形●定價金六十錢

右發賣豫報以來未だ旬日に滿たざるも意外の好評を博し日々數百部の御注文に接し感謝の至りに候就ては猶一層審議を致し大目を協約、官制、官等等級及俸給其他諸給與、任用、裁判所、警察署、監獄署の八項に増加し本月一日の現行法規として些の遺漏なきは勿論索引を附して見出に易からしめ、餘白を存して隨時御記入の便を謀りたる等設備の完全を期し聊か愛顧に酬ゆるの微志に有之就ては更らに本月十日迄御申込の順序に依り配本に着手可致候間此期間に於て御購入の御方に限り前回豫報の通り特別減價を以て御需に應じ可申此際續々御用仰せ付られ度奉願上候敬具

明治四十二年十二月一日

京城 日韓印刷株式會社出版部

京城明治町二丁目(佛國教會前) 辯護士 特許辯理士 岩田仙宗 電話三五四番

新漬大根大賣出

◎新漬澤庵◎白菜漬◎奈良漬

自製醬油元賣捌。陶器器具一式。肥料。種苗。薪炭。日用雜貨。家具。工業農業消毒用藥品一式 農商工部園藝模範場御下品

諸官衙御用達 京城本町一丁目(長谷川町筋) 三輪商會 電話三八六番

歐米新式 高等裁縫 龍山元町四丁目二十八番戸 丸濱洋服店

弊店は廉價を旨とし可嚀を旨とし精々勉強仕候

瑞西タバン時計會社韓國代理販賣店

米國ウオルサム時計 米國アンソニヤ時計 韓國特約販賣店

獨逸國スカンジヤ自轉車特約販賣店

時計卸商 仁川本町三丁目 喜多金光堂本店 電話七五〇番

時計卸小賣 京城本町二丁目 喜多金光堂支店 電話千十五番

綿わた綿ワタ

たやすくうります

ふとん地色々、ふとん調進、太物類、洋物類

京城明治町一丁目四ッ角 卸問屋 唐川商店 電話二六一番

上等石炭各種 並に無煙炭販賣

京城本町二丁目 林田交換所 電話六十五番

韓國銀行

本店用 電話(長)一一三三〇

營業用 電話(長)一一二六一

總裁用 電話 一三二二

[illegible]

支店出張所 仁川、平壤、元山、大邱、鎭南浦、群山、木浦、馬山、咸興、城津、鏡城、開城、安東縣、

爲替取引先 東京、大阪、横濱、神戸、京都、名古屋、四日市、下關、兵庫、伏見、東京新大阪町、大阪西區、(以上日本)釜山、公州、光州、晋州、海州、沙利院、博川、草邊、(以上韓國)大連、(清國)

當銀行は韓國中央金庫並に日本金庫事務の外普通銀行業務に屬する預金貸金爲替等精々確實親切に取扱申候

時節柄敷物及夜具等新調仕り室內の設備も相整申候

御客樣に對しては叮嚀親切を旨とし調理の義は從來よりも一層勉强可仕候間倍舊の御引立奉願候

京城南山町四丁目 原金旅館(電話一一一五番)

荒物世帶道具一切

大阪合製白絞油和洋蠟燭

和傘岐阜提灯魚釣道具

卸小賣

地方在住の各位には御申越あり次第代金引替證付又は代金引替小包郵便を以て御送付申上候御野店營業品目錄御入用の御方は御通知あり次第送呈申上候

荒物世帶道具 各國諸油米穀 銘酒洋酒アサヒサッポロ麥酒 並に買次業

京城本町六丁目 合西崎嘉七本店 電話長二一〇(二カ又は二) 振替貯金口座東京(九四一七番)

資本金一千萬圓 積立金五百十萬圓

株式會社第一銀行京城支店 電話一一番 六一二番

銀行一般の業務は確實を旨とし精々御便利に取扱申候

本店 東京市日本橋區兜町

支店及出張所 大阪、京都、横濱、神戸、名古屋、四日市、下關、新大阪町(東京)、兵庫、伏見、西區(大阪)、釜山、

其他日本韓國各地並に海外樞要の場所に爲替取引先有之候

蒸氣消毒牛乳

京城大和町三丁目 平山牧場 電話一三二

御待合 紅葉

京城南大門通三丁目光宣門側 電話一三八二番

位置の適當なるは御出入に御便利に御座候御取扱を懇切にし御手輕を專一と心懸け候

改修落成と電話開通

久しく改修中の處彌々落成仕候間不相變御贔負の程願ます

京城旭町二丁目(名古屋城横へ入る) 待合 醉月 電話二六五番

唐津石炭直輸入商 並ニ平壤無煙炭あり

京城太平町一丁目九五 南大門高等女學校裏通り 近藤商店 電話八百三十五番

特約販賣 自製

漬物 味噌 醬油 製造元

大上商店

京城本町五丁目(電話二五一番)

和洋酒、罐詰、麥酒、乾物、穀物麵類、銘茶、物食料雜貨、ビール、米糀、塩辛、日本食鹽、荒物、特約販賣尚御望に依り商品切手調進仕候

株式會社十八銀行京城支店 京城南大門通(電話四二〇)

資本金 參百萬圓

積立及繰越金 九拾萬圓

銀行一般業務精々御便利に取扱可申候

本店 長崎市濱町

支店出張所 京城、龍山、仁川、木浦、釜山、元山、羅州、群山、大阪、熊本、佐世保、伊萬里、五島、壹岐

韓國本日

其他日本、韓國樞要地、及露領浦鹽に爲替取引先あり

貯蓄預金 一口壹錢以上何程にても御預り申候(利息日歩壹錢四厘)

長崎貯蓄銀行代理店(十八銀行京城支店)

株式會社百三十銀行韓國總支店 京城本町二丁目十五番戸 電話五十八番

資本金五百萬圓 頭取 安田善三郎

爲替取組先

畿內 大阪、京都、西陣、伏見、奈良、郡山、八木、高田、田原本、五條、貝塚、岸和田、御影、兵庫、神戸、平野、住吉、茨木、下市

東海道 東京、横濱、大磯、甲府、靜岡、山田、名古屋、半田、熱田、四日市、津、桑名、松阪、

東山道 彦根、八幡、大津、長濱、大垣、岐阜、前橋、伊勢崎、宇都宮、福島、若松、松本、青森、秋田、能代、土崎、高崎、

北陸道 小濱、福井、敦賀、鯖江、金澤、大聖寺、富山、伏木、新潟、

山陰道 宮津、舞鶴、綾部、豐岡、鳥取、米子、境、松江、久手、大田

山陽道 龍野、姫路、西大寺、倉敷、玉島、福山、府中、尾の道、三原、廣島、岩國、山口、柳井、下關、萩、德山、小郡、長府、平生、

南海道 牛窓、味野、岩見、岡山、串本、御坊、田邊、新宮、和歌山、尾鷲、洲本、撫養、徳島、撫、丸龜、高松、八幡濱、川之石、宇和島、今治、西條、松山、三津ヶ濱、

西海道 高知、須崎、飯塚、博多、福岡、若松、久留米、若津、中津、小倉、門司、行橋、佐賀、唐津、佐世保、別府、大分、伊萬里、牛津、長崎、佐賀、熊本、宮崎、鹿兒島、入崎、長洲

北海道 函館、小樽、札幌

台灣 臺北、臺南

清韓國 仁川、釜山、元山、鎭南浦、平壤、木浦、群山、大邱、安東縣、晋州、尙州、馬山

銀行一般の業務精々便利取扱可申候

日本郵船株式會社 瀛船出帆 仁川電話千番

貨物及船客取扱店 郡回漕店

仁川海岸通 電話三九番

●釜山、長崎、門司、神戸行 山東丸 一月 後三時出

●大連行 高砂丸 一月十八日正午時出

●大連、芝罘、秦皇島行 山東丸 一月三十日午前六時出

●大連行 酒田丸 二月三日正午時出

●釜山出帆 元山、清津、浦鹽行 立神丸 一月廿六日午後時出

御注意 御乘船ノ際ハ税關波止場ヨリ本船迄送迎船ニテ御送リ可申候送迎船ハ本船出帆ノ五十分前ニ解纜ノ事